

2026年7月10日版

決算説明補足資料

第57期 2026年11月期 第2四半期



株式会社ティムコ
東証STD 7501

CONTENTS



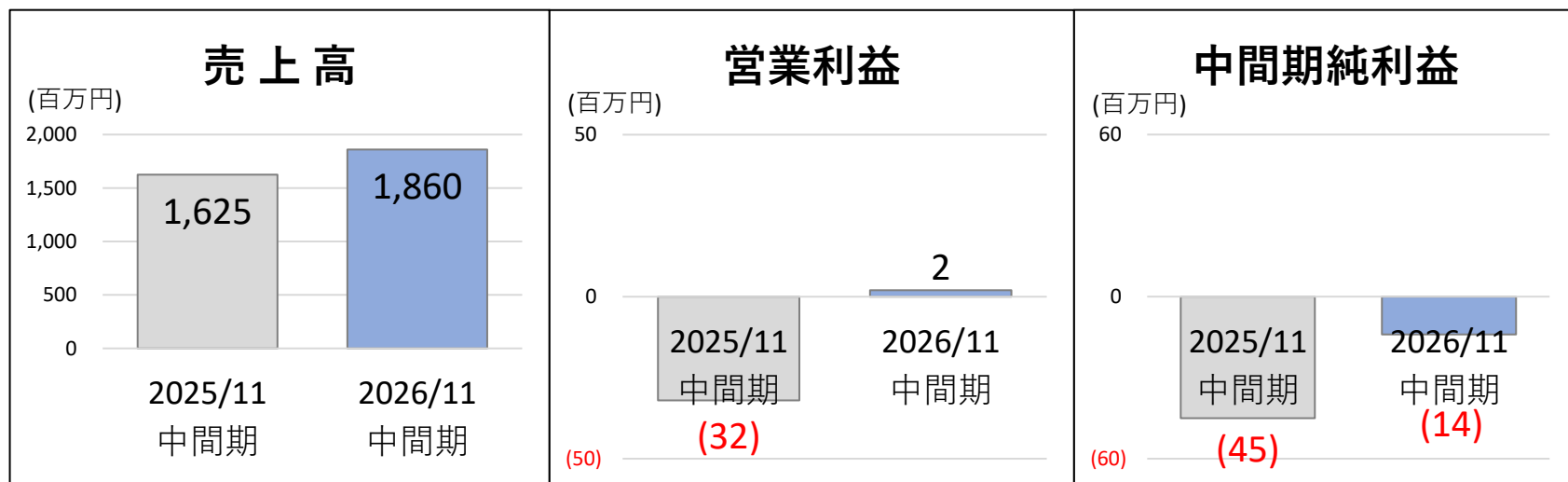
区 分	内 容	頁
決算概況	全体	P3
	四半期別	P4
	セグメント別（フィッシング事業）	P5
	セグメント別（アウトドア事業）	P6
	輸出の状況	P7
	輸入の状況	P8
	新製品・自社企画品	P9
当期予想・対策	当期における対策	P10
	2026年11月期 業績・配当予想 及び 今後の方針	P11
T O P I X	第2四半期までのトピックス ①～⑦	P12
市場調査データ	参加人口の推移・出荷市場・小売市場データ他	P17

決算概要（全体）



フィッシング事業は、アウトドア事業共に、物価高騰に伴う買い控え等により、市況全体に停滞感がありましたが、新製品の投入やアウトドア衣料の販売が堅調に推移し**売上高は前年同期を上回りました**。一方で円安や原価高騰等による**売上総利益率の低下**や**人件費や株主総会関連費用の増加**による販売費及び一般管理費の増加が、営業利益を下押ししました。これに加えて、公開買付けを受けたことにより発生したアドバイザー費用や特別委員会に要した費用を特別損失に計上したため、**中間純損失となりました**。

単位：百万円	2025年11月 中間期	2026年11月 中間期	増減率	増減額
売上高	1,625	1,860	+14.5%	+235
営業利益（損失）	-32	2	-	+35
経常利益（損失）	-28	9	-	+37
中間期純利益（損失）	-45	-14	-	+31



決算概要（四半期別）



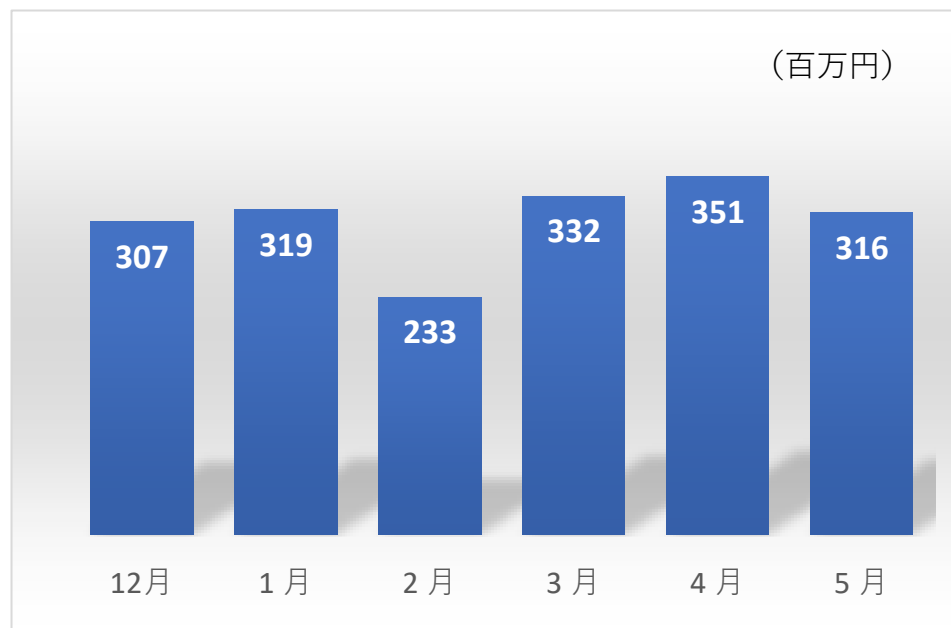
期初の12月が前期を下回りましたが、これは売上構成比の大きいアウトドア事業が、好調であった前年12月に比べより気温が上昇し、これが販売に影響を与えました。一方、1月以降は、物価高騰により、高額品の買控え等の影響はあったものの、フィッシング事業、アウトドア事業共に順調に推移しました。

●1Q（12-2月）12月は気温上昇で防寒衣料が苦戦したものの、売筋在庫等の確保によりに全般に売上高向上。

●2Q（3-5月）市場全体は停滞していたものの売筋在庫の確保により全般に売上高向上。

<月別売上高の状況（百万円）>

	売上高	構成比	前年同月比
12月	307	16.5%	94.0%
1月	319	17.2%	128.0%
2月	233	12.5%	122.0%
3月	332	17.9%	125.7%
4月	351	18.9%	124.5%
5月	316	17.0%	101.9%



決算概況(セグメント別 フィッシング事業)



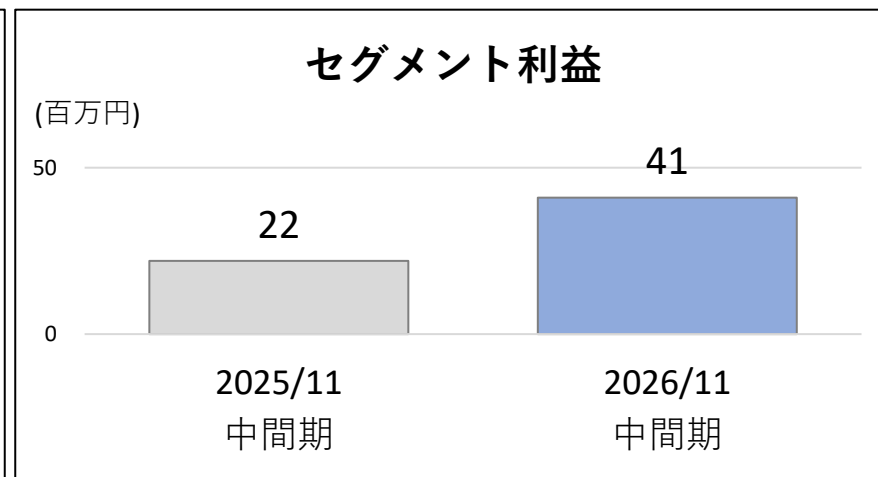
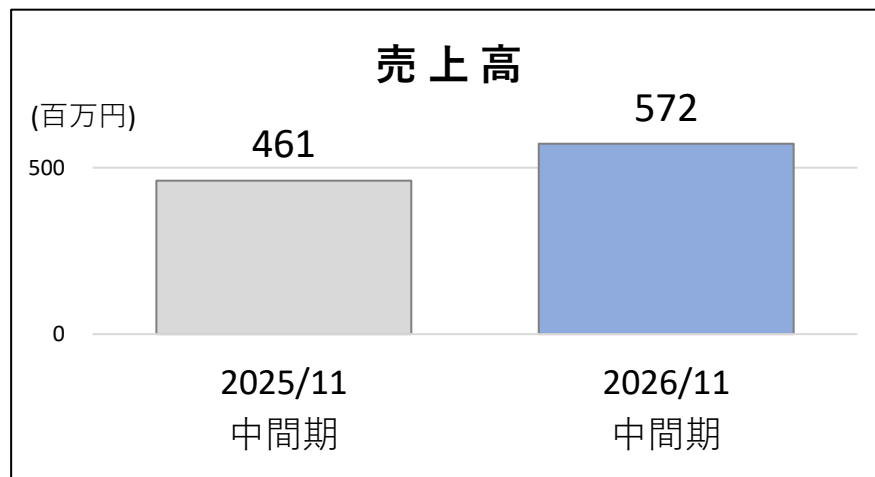
◆増加要素

- ・ルアー(擬似餌)、フライ用品の消耗品等の一部商品の売上が増加。
- ・輸出の売上が増加(円安も起因)。
- ・引き続き熊スプレーの販売が堅調に推移。

◆減少要素

- ・原価高騰及び円安に起因する商品の値上げによる買い控え。
- ・原価高騰及び円安に起因して原価率が上昇し売上総利益率が低下。
- ・熊の出没を警戒してフィールドへの外出を自粛するお客様が依然として多い。

単位：百万円	2025/11期 Q1-Q2	2026/11期 Q1-Q2	増減率	増減額
売上高	461	572	+24.2%	+111
セグメント利益	22	41	+81.7%	+18



決算概況(セグメント別 アウトドア事業)



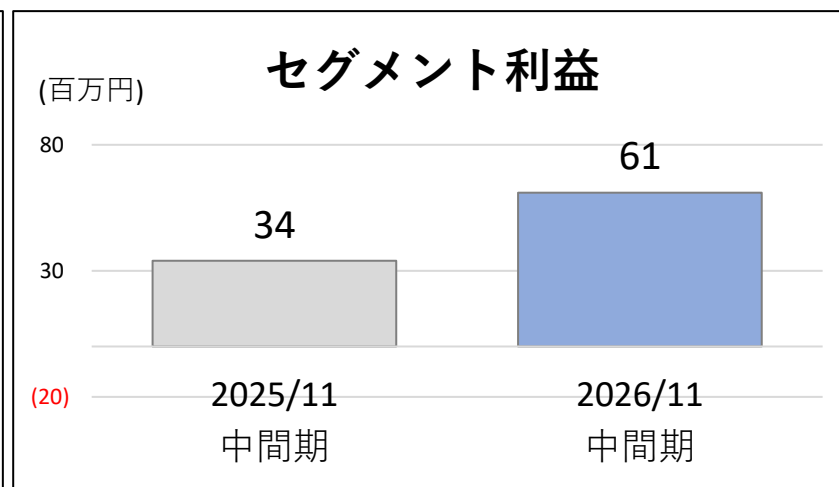
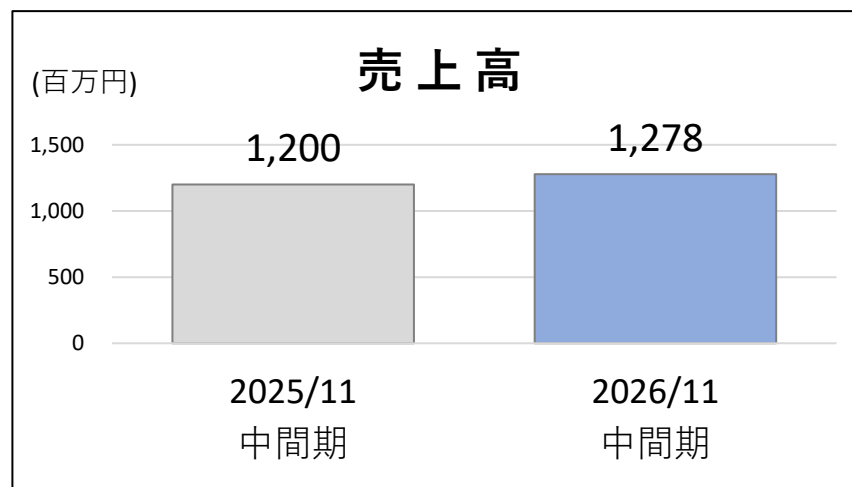
◆増加要素

- ・前年同期に売れ筋在庫の欠品等が発生していたが、当期は在庫が確保されていたため販売に貢献。

◆減少要素

- ・春以降の登山需要等が停滞気味。
- ・原価高騰及び円安に起因する商品の値上げによる買い控え。
- ・原価高騰及び円安に起因して原価率が上昇し売上総利益率が低下。
- ・熊の出没を警戒してフィールドへの外出を自粛するお客様が依然として多い(登山客停滞)。

単位：百万円	2025/11期 Q1-Q2	2026/11期 Q1-Q2	増減率	増減額
売上高	1,153	1,278	+10.9%	+125
セグメント利益	34	61	+77.6%	+26



決算概況(輸出の状況)



<概況>

輸出品目は、フライフィッシング用品が中心である。

当期よりルアーや偏光サングラスの他、アウトドア衣料も輸出を拡大していく。

<主な国別状況>

スリランカ：フライ用品の毛鉤生産工場を中心とした輸出。

中 国：アウトドア衣料及び偏光サングラスを中心とした輸出が増加。

アメリカ：フライ用品に加えて、ルアー用品の輸出も開始。

韓 国：主に偏光サングラスの売上強化による拡大。

イタリア：ルアー用品を中心に輸出拡大。

		2025/11期 中間期		2026/11期 中間期	
売上高		1,625百万円		1,860百万円	
輸出金額		77百万円		94百万円	
輸出比率		4.8%		5.1%	
輸 出 シ ョ ア	ス リ ラ ン カ	17.7%	ス リ ラ ン カ	17.8%	
	ス ウ ェ ー デ ン	14.4%	中 国	14.2%	
	ア メ リ カ	12.9%	ア メ リ カ	12.0%	
	フ ラ ン ス	8.3%	韓 国	8.7%	
	韓 国	6.2%	イ タ リ ア	8.3%	
	イ タ リ ア	4.9%	フ ラ ン ス	7.2%	
	そ の 他	35.6%	そ の 他	31.8%	

輸出金額
(百万円)

期間	輸出金額 (百万円)
2025/11 中間期	77
2026/11 中間期	94

輸出比率

期間	輸出比率 (%)
2025/11 中間期	4.8%
2026/11 中間期	5.1%

決算概要(輸入の状況)

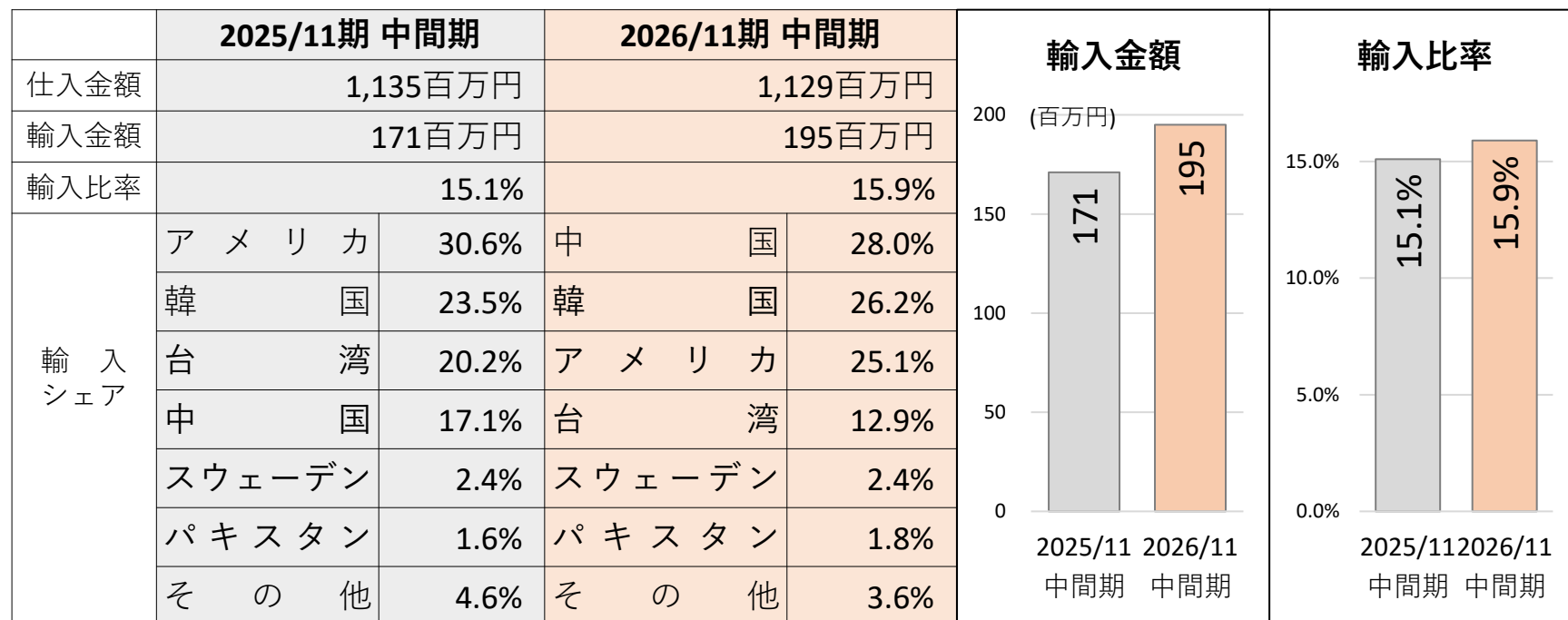


<概況>

海外法人から直接輸入している仕入のみ輸入に計上。フィッシング用品が中心。
海外生産でも国内中間業者を介して仕入を行う場合は輸入に含まない。
当中間期は仕入が順調に進み**輸入金額が増加した**。

<主な国別状況>

中国の輸入比率向上は、当中間期にフィッシング用品の大口仕入が重なったため。
その他は大きな変化はなし。

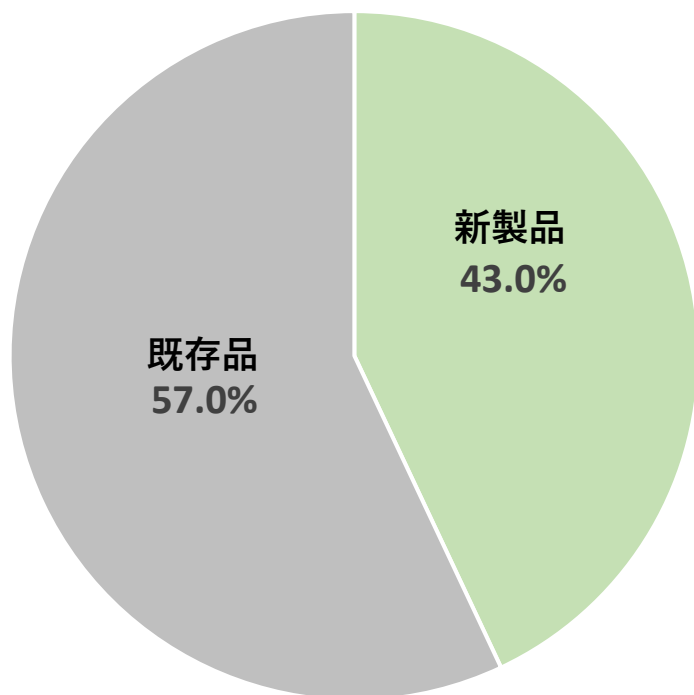


決算概要（新製品・自社企画品）



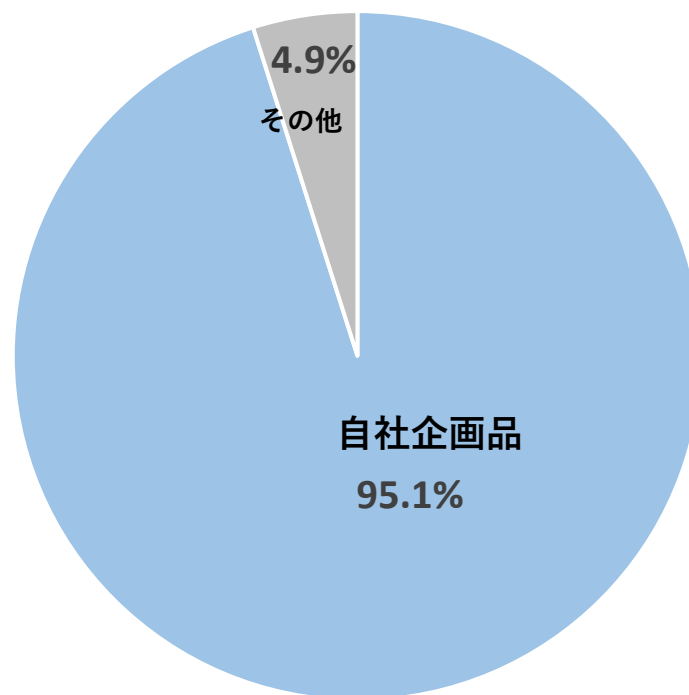
新製品販売比率

4割強が新製品



自社企画品販売比率

9割以上が自社企画品



物価高騰により国内消費は停滞気味であるが、海外展開とECに注力をしていく。

◆ 海外展開の強化

引き続き海外展開の拡大には注力する。

< 展開品目の拡大 >

- ・これまでフライ用品が中心であったが**ルアー用品**の拡大期と捉えている。
- ・**アウトドア衣料**についても海外展開を拡大していく。

< 展開国の拡大 >

- ・欧米が中心であったが、ルアー輸出拡大により**アジア圏**も対応強化。

◆ ECは引き続き強化

引き続きEC分野には注力し、成長分野として資源を投入していく。
自社ECだけでなく、取引先のECコンテンツに対しても注力していく。

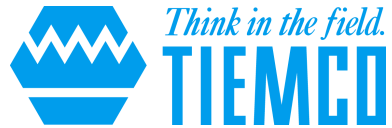
◆ 第57期(2026年11月期)の業績予想について

2026年6月19日公表の「主要株主である筆頭株主の堅果シナジー投資事業有限責任組合との協調体制の構築に関する合意のお知らせ」にて公表のとおり、堅果シナジー投資事業有限責任組合の協力を得て同組合が推進する「グローバル展開」及び「DX化」に向けて準備を進めておりますが、それらに伴う費用発生時期や規模、2026年11月30日までに見込める売上高の増加額など、2026年11月期の業績への影響額について、現時点で合理的に見積もることが困難であると判断いたしました。このため、2026年11月期通期業績予想を取り下げ、未定とすることといたします。なお、業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

◆ 今後の方向性について

当社では、予てより「お客様との接点の強化」、「EC分野の拡大」、「海外展開の強化」を重点項目として取り組んでおりますが、堅果シナジー投資事業限定責任組合も、同じ方向性で取り組む意向であります。これは、当社が2026年6月19日において「主要株主である筆頭株主の堅果シナジー投資事業有限責任組合との協調体制の構築に関する合意のお知らせ」にて当組合と合意に至る主軸となるものであります。今後、この方向性に従った新たな取り組みにおいて開示が可能なものは順次公表をしてまいります。

TOPICS



TOPIC① River of Dreams シンポジウム 2026



River of Dreams シンポジウム2026（2026年2月14日 都立産業貿易センター台東館）

「幻と夢のあいだーイトウと釣り人の寄り添う未来ー」をテーマに、日本最大の淡水魚、サケ科のイトウについて、その識者が集うシンポジウムを開催しました。

【登壇/敬称略】 養老孟司（解剖学者・東京大学名誉教授）・知来要（フォトグラファー）

小山内浩一（猿払イトウの会 会長）・福島路生（国立研究開発法人・国立環境研究所 特命研究員）

中野信之（NPO法人シュマリナイ湖ワールドセンター代表）・菅原正志（声優・アングラー）



TOPIC② Foxfire × PAPERSKY



Foxfire × PAPERSKYで贈る“釣りと旅”をテーマにしたコレクション 『FISHDOM』シリーズ 発売（2026年3月25日）

FISHDOMと題したコラボコレクションの第1弾では、両者が実際に行った沖縄県は西表島でのトリップから着想を得てアイテムを製作。“イリオモテヤマネコ”、“サガリバナ”をモチーフにデザイン。魚の形をしたFISHDOMロゴや水色のPAPERSKYタグといったディテールなどを盛り込みました。



TOPIC③ SOUTH2 WEST8 x Foxfire



2026.4.10 11:30AM. On Sale

【SOUTH2 WEST8】定番の「TRAIL SHIRT」と「TRAIL PANT」を軸に、「POCKET TEE」と「HOODY」を展開。

【Foxfire】が長年採用する防虫機能素材「SCORON®」へ置き換え、UVカットと防虫性能を備えた機能性を実現しています。フィッシングという共通のバックグラウンドを持つ両ブランドの視点から生まれた本コレクションは、フィールドと日常をシームレスにつなぐ、新たなアウトドアクロージングを提案します。



TOPIC④ Foxfire Store 南大沢にOPEN



Foxfire FACTORY OUTLET多摩南大沢が5月22日(金)オープン

三井アウトレットパーク多摩南大沢に期間限定でFoxfire FACTORY OUTLET がオープン(2027年1月まで)。南大沢駅に隣接しており、フランスプロヴァンス地方の街並みをイメージした施設です。ファッション、スポーツブランドをはじめスーパーマーケットやレストランなど100店以上の店舗が揃っています。



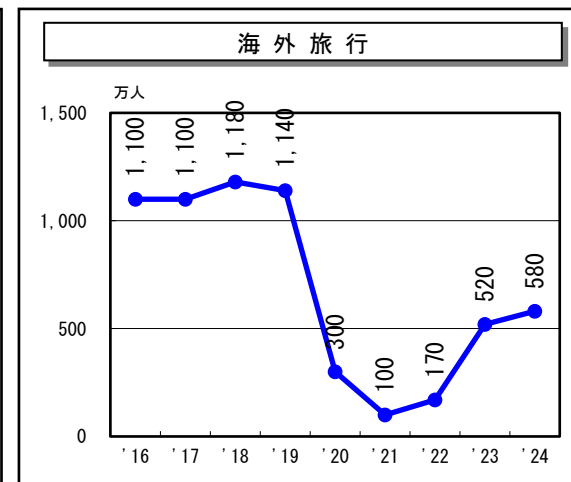
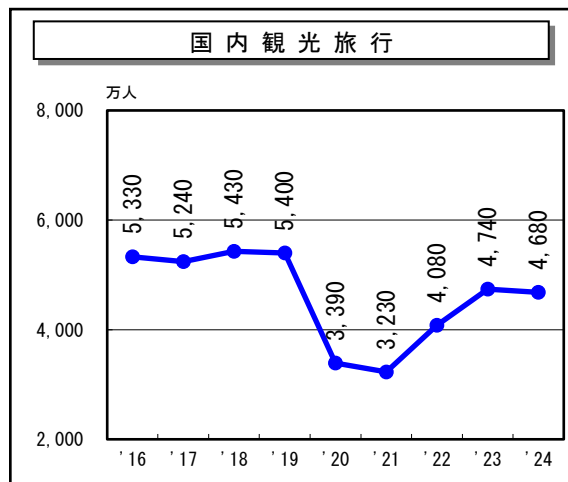
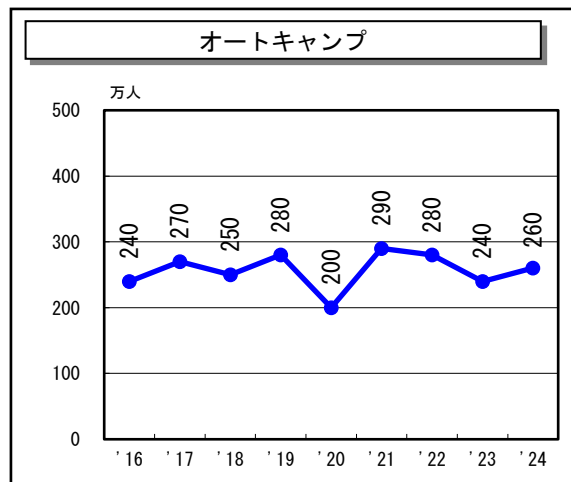
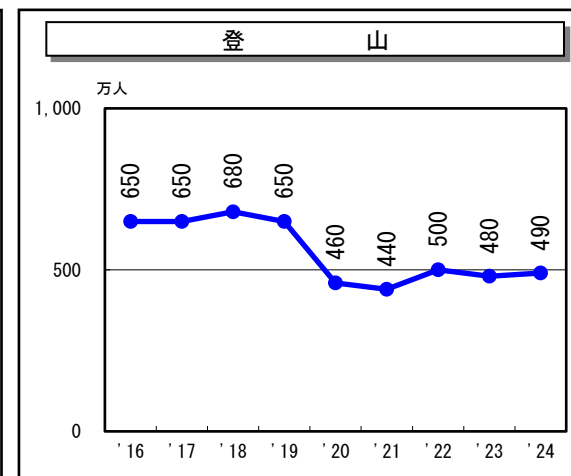
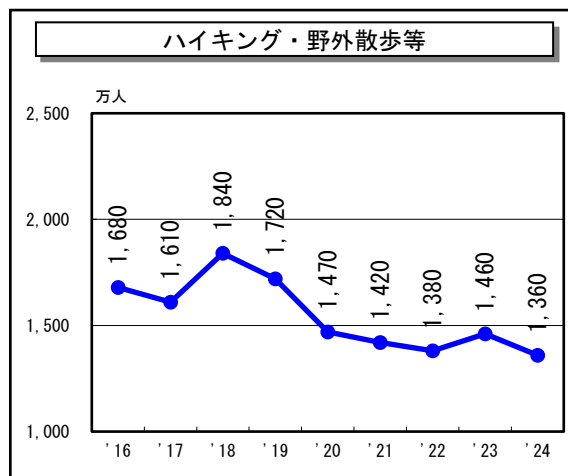
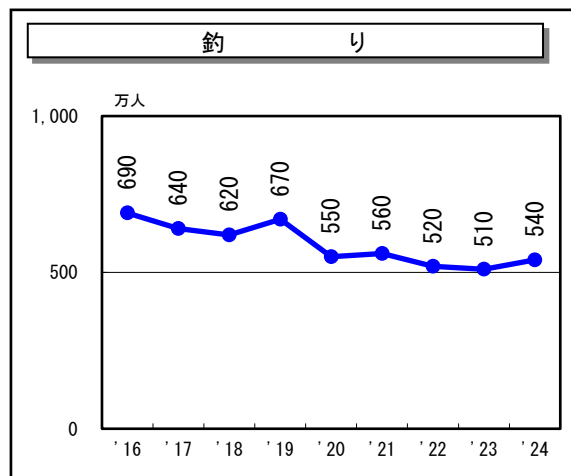
三井アウトレットパーク多摩南大沢A街区2F
八王子市南大沢1丁目600 (営業時間10:00～20:00)

市場調査データ



参加人口の推移

当社の事業に関連するアクティビティの参加人口をピックアップしています。



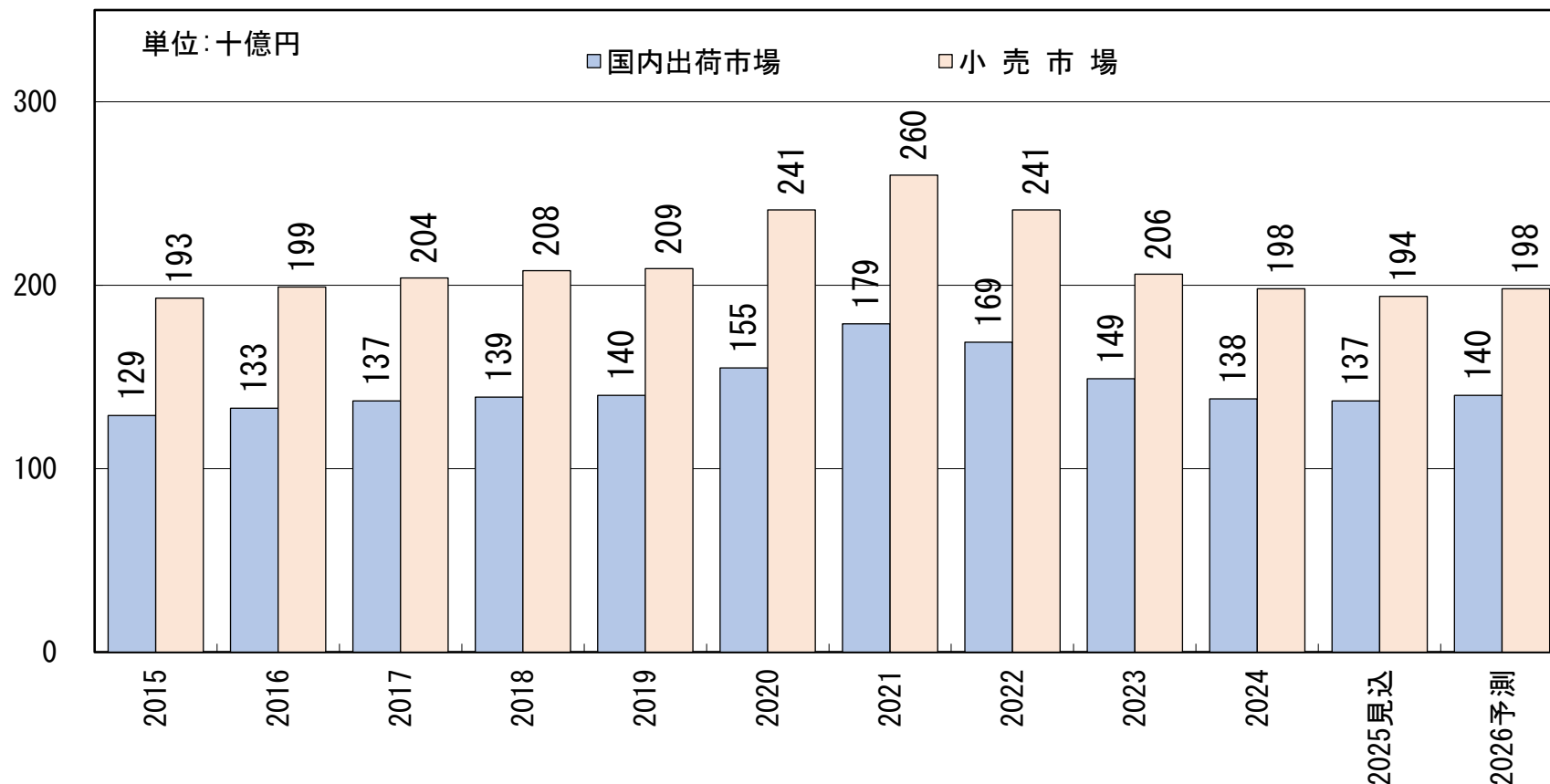
出典「レジャー白書2025」 公益財団法人 日本生産性本部 2025年10月

釣用品市場規模の推移

< 2つのグラフの意味 >

国内出荷市場：メーカーから小売店への出荷額の国内総計

小売市場：小売店より消費者等への販売額の国内総計



出典：「第29回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2026年1月

釣種別の国内出荷規模



国内出荷規模（メーカーから小売店への出荷額）を釣種別に分類した表です。
色のついたセルは当社に関係する釣種になります。

釣 種	2023		2024			2025見込		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
ルアーフィッシング	91,725	61.5%	86,676	62.0%	94.5%	86,773	63.2%	100.1%
バ ス	27,209	18.2%	27,210	19.5%	100.0%	27,249	19.8%	100.1%
ソ ル ト	58,155	39.0%	53,815	38.5%	92.5%	54,188	39.4%	100.7%
ト ラ ウ ト 他	6,361	4.3%	5,651	4.0%	88.8%	5,336	3.9%	94.4%
フライフィッシング	2,659	1.8%	2,095	1.5%	78.8%	1,908	1.4%	91.1%
ルアー・フライ小計	94,384	63.3%	88,771	63.5%	94.1%	88,681	64.5%	99.9%
投 げ 釣 り	4,031	2.7%	3,121	2.2%	77.4%	3,257	2.4%	104.4%
磯・波 止 め 釣 り	20,193	13.5%	18,389	13.2%	91.1%	17,454	12.7%	94.9%
船 釣 り	17,339	11.6%	17,469	12.5%	100.7%	16,735	12.2%	95.8%
溪 流 釣 り	1,669	1.1%	1,630	1.2%	97.7%	1,395	1.0%	85.6%
ア ユ 釣 り	5,181	3.5%	5,205	3.7%	100.5%	4,731	3.4%	90.9%
ヘ ラ ブ ナ 釣 り	5,423	3.6%	4,424	3.2%	81.6%	4,248	3.1%	96.0%
そ の 他	890	0.6%	751	0.5%	84.4%	899	0.7%	119.7%
合 計	149,110	100.0%	139,760	100.0%	93.7%	137,400	100.0%	98.3%

出典：「第29回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2026年1月

アウトドア用品の国内出荷規模①



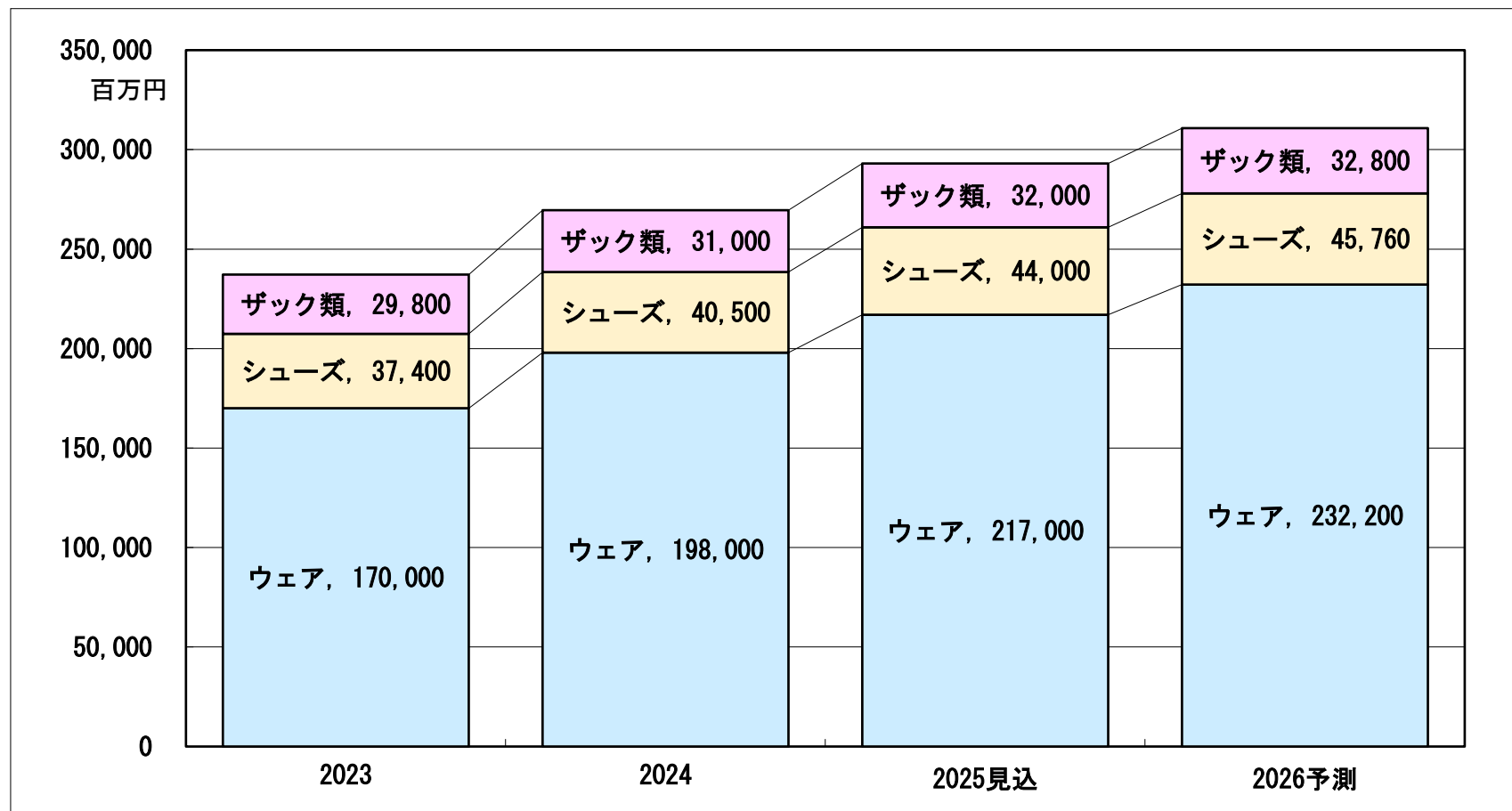
国内出荷規模（メーカーから小売店への出荷額）を商品別に分類した表です。
色のついたセルは当社に関係するジャンルになります。

分 類	2023	2024		2025見込		2026予測	
	出荷額	出荷額	前年比	出荷額	前年比	出荷額	前年比
ア ウ ト ド ア ウ ェ ア	170,000	198,000	116.5%	217,000	109.6%	232,200	107.0%
ア ウ ト ド ア シ ュ ー ズ	37,400	40,500	108.3%	44,000	108.6%	45,760	104.0%
ザ ッ ク 類	29,800	31,000	104.0%	32,000	103.2%	32,800	102.5%
テ ン ト ・ タ ー プ 類	19,200	15,500	80.7%	15,000	96.8%	14,800	98.7%
シ ュ ラ フ	6,000	6,000	100.0%	6,100	101.7%	6,200	101.6%
照 明 器 具	3,500	2,850	81.4%	2,750	96.5%	2,700	98.2%
調 理 器 具 ・ 食 器 類	9,300	6,600	71.0%	6,200	93.9%	6,100	98.4%
テ ー ブ ル ・ チ ェ ア	11,200	11,000	98.2%	10,700	97.3%	10,900	101.9%
ク ー ラ ー ・ ジ ャ グ 類	11,800	15,000	127.1%	16,800	112.0%	20,000	119.0%
そ の 他	13,500	11,400	84.4%	11,850	103.9%	10,450	88.2%
合 計	311,700	337,850	108.4%	362,400	107.3%	381,910	105.4%

アウトドア用品の国内出荷規模②



当社に関連する商品ジャンルのみをピックアップした国内出荷規模（メーカーから小売店への出荷額）のグラフになります。





Think in the field.
TIEMCO

<当資料に関するお問い合わせ>

株式会社ティムコ 経営企画チーム

TEL 03-5600-0122 FAX 03-5600-0302

メールでのお問い合わせは下記のアドレスまたは右のQRコード
より I R お問い合わせ画面にアクセスいただけます。

<https://tiemco.tayori.com/f/inquiry-form-ir/>

IRお問い合わせ専用



注) 本資料は、当社の業績概要の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り開示時点の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。
本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。